

中小企業景況調査報告書

平成30年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



Asano Park

一宮市観光協会提供

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 99社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・ 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・ 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・ 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・ 調査対象企業数 99事業所。

- ・ 調査対象企業の業種 次の表のとおり

(1) 景況調査対象事業所(99)の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	60
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(12)
卸売業	11
小売業	11
サービス業	10
合 計	99

(2) 繊維製造業対象事業所(48)の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	10
縫製加工業	2
そ の 他	8
合 計	48

- ・ 分析方法
 1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・ 分析項目
 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・ その他の分析
 1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は緩やかに回復している。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で前期実績を上回った。

来期は、業況、売上、資金繰りのDI 値で今期実績を上回り、採算、従業員のDI 値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

業況 DI 値は、前期実績 22.0 から 5.1 (16.9 ポイント増) となり、来期は 1.0 (4.1 ポイント増) となる見通し。

売上 DI 値は、前期実績 30.0 から 4.0 (26.0 ポイント増) となり、来期は 2.0 (2.0 ポイント増) となる見通し。

採算 DI 値は、前期実績 27.0 から 6.1 (20.9 ポイント増) となり、来期は 7.1 (1.0 ポイント減) となる見通し。

資金繰り DI 値は、前期実績 14.0 から 7.1 (6.9 ポイント増) となり、来期は 3.0 (4.1 ポイント増) となる見通し。

従業員 DI 値は、前期実績 7.0 から 6.1 (13.1 ポイント増) となり、来期は 3.0 (3.1 ポイント減) となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、前期実績を上回った。

来期は、売上、採算、資金繰り、従業員のDI 値で、今期実績を上回り、業況のDI 値で、今期実績横ばいの見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

指標別の状況

業況 DI 値は、前期実績 21.0 から 10.1 (31.1 ポイント増) となった。

売上 DI 値は、前期実績 34.0 から 18.2 (52.2 ポイント増) となった。

資金繰り DI 値は、前期実績 13.0 から 3.0 (10.0 ポイント増) となった。

繊維製造業の状況

今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(29 件、19 事業所)に比べ件数、事業所とも増加している。

今期の実績(表 4、6 参照)は 31 件(21 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』12 件、『車両・運搬具』6 件、『工場建物』5 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は 42 件(23 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』14 件、『付帯施設』6 件、『工場建物』『OA 機器』各 5 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

民間工事は、少しずつでも増加に転じているが、公共工事は年々減少してきており、依然として低い水準で推移している。

B 社（製造業 <織物>）

例年は、春から需要減少する時期だが、カーシートの需要が継続しており、仕事量は減っていない。これは、自動車の販売が増加しているからでなく、生産対応できる事業所が減少しているからである。

C 社（製造業 <織物>）

今期は好調である。今年は寒さが厳しくコート関係の需要が増加し、ストックの減少を補うための受注が増加したものと思われる。しかし、今後の見通しは不透明である。

D 社（製造業 <織物>）

厳冬、在庫不足の影響から、取引先からの受注は順調であり、仕事量は確保できている。しかし、受注単価が上がらず、採算面はなかなか改善できない状況にある。

E 社（製造業 <印刷>）

生き残りのためには、ネット受注の仕組みづくりに取り組まなければならない、生産性の高い設備への更新が必要、差別化、高付加価値化への必要性あり、そのためにはクリエイターの人材確保等が必要であると考えている。

F 社（卸売業）

5月下旬頃から受注量は失速し、6月の受注は減少する見通しである。仕入単価も上昇しているが、価格転嫁は難しい状況である。

G 社（卸売業）

今期の売上は、長年継続してきた取引先の廃業増加やネット普及に伴うネット販売利用者の増加により、前年同期比減少している。新規取引先確保が課題だが、思うように進展していない。

H 社（小売業）

業界は、大型店の影響を大きく受けている。当店は、取り扱い商品が違うため本来は競合しないはずであるが、地元消費者も少しずつ理解されてきている。

I 社（サービス業）

IT 導入補助金等の申請支援業務で多忙である。平成32年に、小学校においてプログラミング教育が必修化されることから、業界の伸長が期待できる。

景況の推移（全業種99事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H29. 4～6月	H29. 7～9月	H29. 10～12月	H30. 1～3月	今 期 H30. 4～6月	来期の見通し H30. 7～9月
業 況	▲25.0	▲35.0	▲26.0	▲22.0	▲ 5.1	▲ 1.0
売 上	▲26.0	▲30.0	▲21.0	▲30.0	▲ 4.0	▲ 2.0
採 算	▲22.0	▲24.0	▲33.0	▲27.0	▲ 6.1	▲ 7.1
資金繰り	0.0	▲13.0	▲13.0	▲14.0	▲ 7.1	▲ 3.0
従 業 員	▲ 4.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 7.0	6.1	3.0

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H29. 4～6月	H29. 7～9月	H29. 10～12月	H30. 1～3月	今 期 H30. 4～6月	来期の見通し H30. 7～9月
業 況	▲42.9	▲57.1	▲38.8	▲38.8	4.2	4.2
売 上	▲40.8	▲51.0	▲32.7	▲46.9	8.3	10.4
採 算	▲32.7	▲42.9	▲44.9	▲36.7	▲ 4.2	0.0
資金繰り	▲ 4.1	▲16.3	▲18.4	▲20.4	▲ 8.3	0.0
従 業 員	2.0	▲ 6.1	▲ 4.1	▲ 8.2	▲ 2.1	6.3

業種別集計表 (全業種99事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	60	11	11	10	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (0)	16 (15)	0 (1)	0 (0)	2 (2)	18 (18)	▲ 5.1 (▲1.0)
	不変	6 (7)	29 (34)	10 (9)	7 (6)	6 (6)	58 (62)	
	悪化	1 (0)	15 (11)	1 (1)	4 (5)	2 (2)	23 (19)	
売上	増加	0 (0)	20 (22)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	26 (26)	▲ 4.0 (▲2.0)
	不変	3 (5)	23 (23)	7 (6)	6 (6)	4 (5)	43 (45)	
	減少	4 (2)	17 (15)	3 (4)	4 (4)	2 (3)	30 (28)	
採算	好転	0 (0)	14 (12)	0 (1)	2 (0)	2 (1)	18 (14)	▲ 6.1 (▲7.1)
	不変	5 (5)	30 (37)	9 (8)	6 (7)	7 (7)	57 (64)	
	悪化	2 (2)	16 (11)	2 (2)	3 (4)	1 (2)	24 (21)	
資金繰り	好転	0 (0)	4 (5)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (5)	▲ 7.1 (▲3.0)
	不変	7 (7)	48 (50)	11 (11)	8 (8)	8 (10)	82 (86)	
	悪化	0 (0)	8 (5)	0 (0)	3 (3)	1 (0)	12 (8)	
従業員	増加	0 (0)	11 (12)	2 (0)	1 (0)	4 (3)	18 (15)	6.1 (3.0)
	不変	7 (6)	42 (43)	7 (9)	9 (10)	4 (4)	69 (72)	
	減少	0 (1)	7 (5)	2 (2)	1 (1)	2 (3)	12 (12)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種99事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	21	来期	計画している ※2	23
	(事業所数)	実施していない	78	(事業所数)	計画していない	76

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	3 件	5. 付帯施設	3 件	6 件
2. 工場建物	5 件	5 件	6. O A 機器	3 件	5 件
3. 生産設備	12 件	14 件	7. 福利厚生施設	2 件	1 件
4. 車両・運搬具	6 件	4 件	8. その他	0 件	4 件
			合計	31 件	42 件

複数回答可

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	22	10	2	8	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (3)	5 (2)	4 (4)	0 (0)	4 (3)	15 (12)	4.2 (4.2)
	不変	3 (3)	6 (11)	5 (5)	2 (2)	4 (5)	20 (26)	
	悪化	1 (0)	11 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (10)	
売上	増加	2 (4)	7 (5)	5 (4)	0 (1)	3 (3)	17 (17)	8.3 (10.4)
	不変	3 (2)	7 (8)	3 (4)	1 (1)	4 (4)	18 (19)	
	減少	1 (0)	8 (9)	2 (2)	1 (0)	1 (1)	13 (12)	
採算	好転	1 (2)	4 (1)	3 (3)	0 (1)	4 (3)	12 (10)	▲ 4.2 (0.0)
	不変	3 (4)	9 (13)	6 (6)	1 (1)	3 (4)	22 (28)	
	悪化	2 (0)	9 (8)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	14 (10)	
資金繰り	好転	0 (0)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	1 (2)	3 (4)	▲ 8.3 (0.0)
	不変	6 (6)	17 (17)	8 (9)	1 (2)	6 (6)	38 (40)	
	悪化	0 (0)	5 (4)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	7 (4)	
従業員	増加	1 (2)	1 (1)	2 (3)	0 (0)	2 (2)	6 (8)	▲ 2.1 (6.3)
	不変	5 (4)	15 (16)	7 (7)	2 (2)	6 (6)	35 (35)	
	減少	0 (0)	6 (5)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (5)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	12	来期	計画している ※2	14
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	34

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	2 件
2. 工場建物	2 件	3 件	6. O A 機器	0 件	2 件
3. 生産設備	7 件	9 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	4 件	3 件	8. その他	0 件	1 件
			合計	15 件	20 件

複数回答可

景況の推移 (全業種99事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H29.4～6月	H29.7～9月	H29.10～12月	H30.1～3月	今期 H30.4～6月
業況	▲12.0	▲26.0	▲11.0	▲21.0	10.1
売上	▲ 1.0	▲17.0	▲ 6.0	▲34.0	18.2
資金繰り	▲ 1.0	▲16.0	▲11.0	▲13.0	▲ 3.0

業種別集計表 (全業種99事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	60	11	11	10	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1	18	0	1	3	23	10.1
	不変	5	34	10	7	7	63	
	悪化	1	8	1	3	0	13	
売上	増加	1	29	3	3	5	41	18.2
	不変	4	21	4	3	3	35	
	減少	2	10	4	5	2	23	
資金繰り	好転	0	7	0	0	1	8	▲ 3.0
	不変	7	45	11	9	8	80	
	悪化	0	8	0	2	1	11	

景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H29.4～6月	H29.7～9月	H29.10～12月	H30.1～3月	今 期 H30.4～6月
業 況	▲14.3	▲44.9	▲18.4	▲30.6	20.8
売 上	0.0	▲22.4	▲22.4	▲46.9	37.5
資金繰り	▲ 6.1	▲18.4	▲14.3	▲20.4	▲ 2.1

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	22	10	2	8	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1	7	4	0	4	16	20.8
	不 変	5	9	6	2	4	26	
	悪 化	0	6	0	0	0	6	
売 上	増 加	2	12	5	0	5	24	37.5
	不 変	4	6	4	1	3	18	
	減 少	0	4	1	1	0	6	
資 金 繰 り	好 転	0	2	3	0	1	6	▲ 2.1
	不 変	6	14	7	1	7	35	
	悪 化	0	6	0	1	0	7	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難 ○民間需要の停滞	○従業員の確保難	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品ニーズの変化 への対応	○生産設備の不足・ 老朽化 ○従業員の確保難 ○需要の停滞	○原材料価格の上昇
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難 ○仕入単価の上昇	○大企業の進出による 競争の激化
小売業	○販売単価の低下・ 上昇難	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化 ○需要の停滞	○購買力の他地域 への流出 ○仕入単価の上昇
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○材料等仕入単価の 上昇

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	2
材料の入手難	0
人件費の増加	1
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	8
下請単価の上昇	2
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	3
下請業者の確保難	1
官公需要の停滞	6
民間需要の停滞	8
その他 (働き方改革)	3
合 計	41

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	3
製品ニーズの変化への対応	23
生産設備の不足・老朽化	26
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	49
原材料の不足	4
人件費の増加	29
原材料費・人件費以外の経費の増加	5
製品(加工)単価の低下・上昇難	32
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	24
熟練技術者の確保難	23
需要の停滞	50
その他 (外注加工場の減少、外注の減少)	2
合 計	275

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	14
生産設備の不足・老朽化	9
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	8
原材料の不足	0
人件費の増加	5
原材料費・人件費以外の経費の増加	4
製品(加工)単価の低下・上昇難	6
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	9
その他	0
合 計	71

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
メーカーの進出による競争の激化	1
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	4
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	3
需要の停滞	12
その他 (得意先の倒産、廃業による売上減、核家族、世代交代、風習の変化による売上減)	1
合 計	50

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	7
同業者の進出	4
購買力の他地域への流出	6
消費者ニーズの変化への対応	4
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	14
仕入単価の上昇	6
金利負担の増加	1
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	4
需要の停滞	7
その他 (寒暖の差が著しくて季節商品(春物)の苦戦)	4
合 計	62

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	2
店舗施設の狭隘・老朽化	2
人件費の増加	11
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	5
材料等仕入単価の上昇	6
金利負担の増加	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	17
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	3
その他	0
合 計	54

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

図 1

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

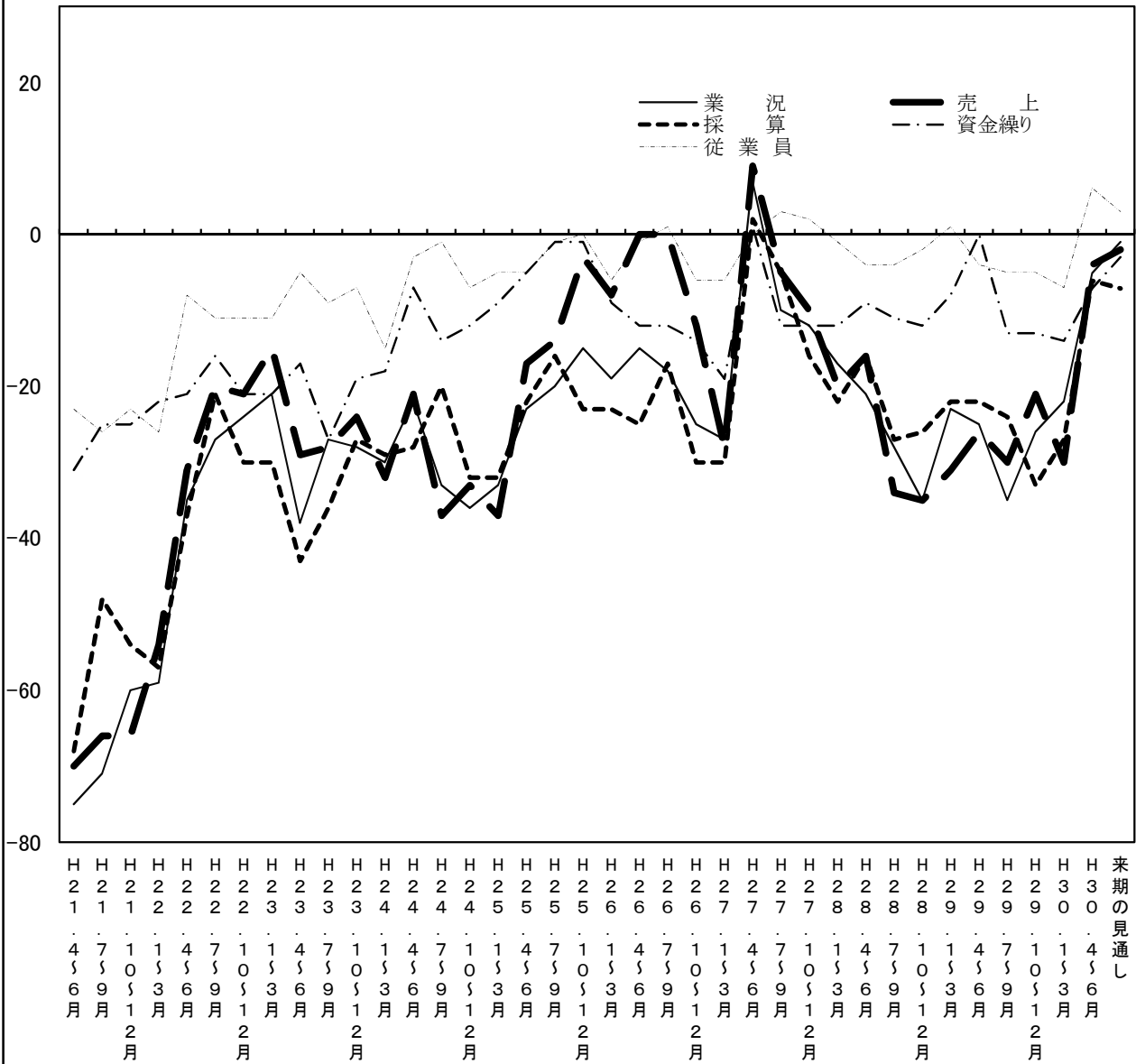


図 2

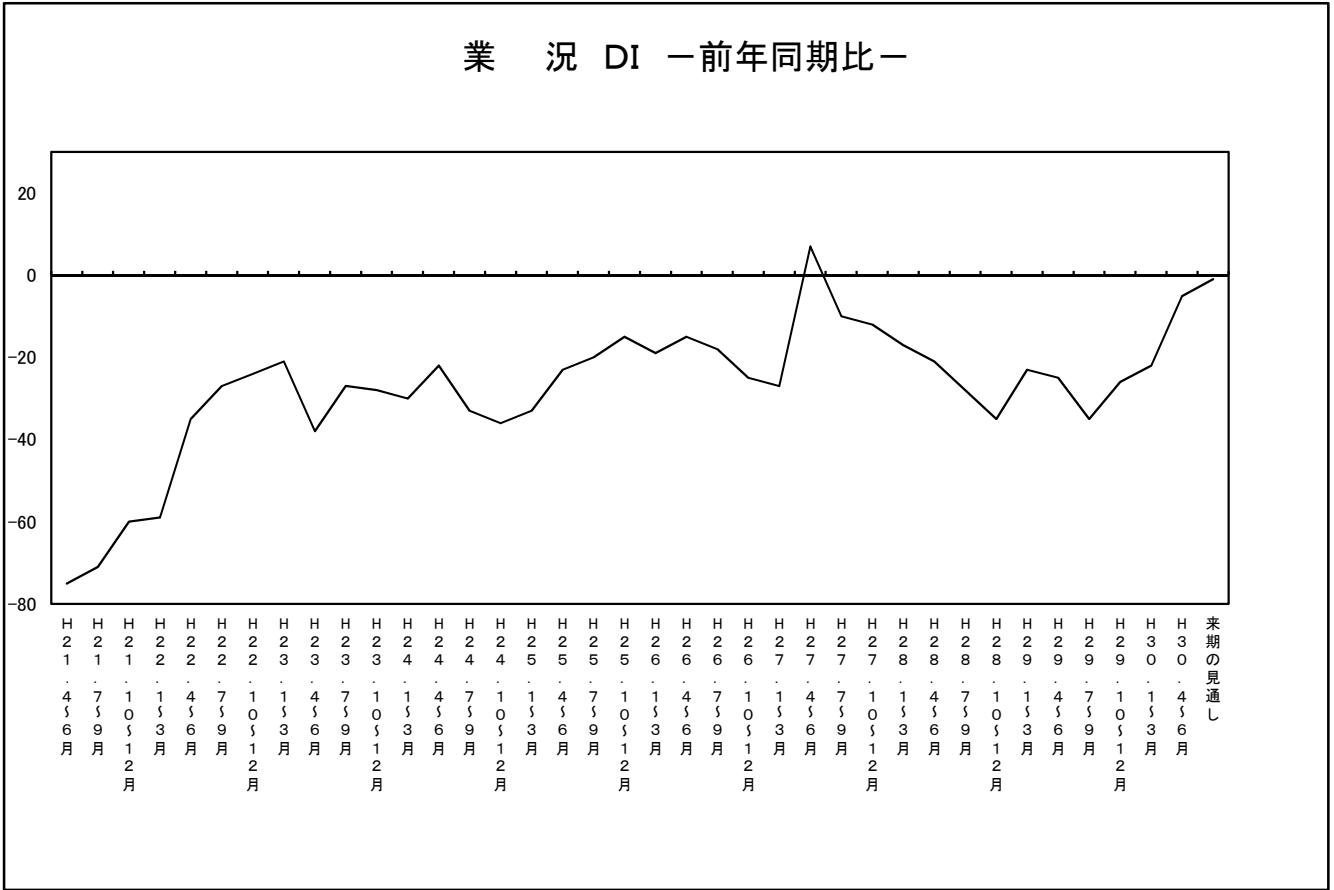
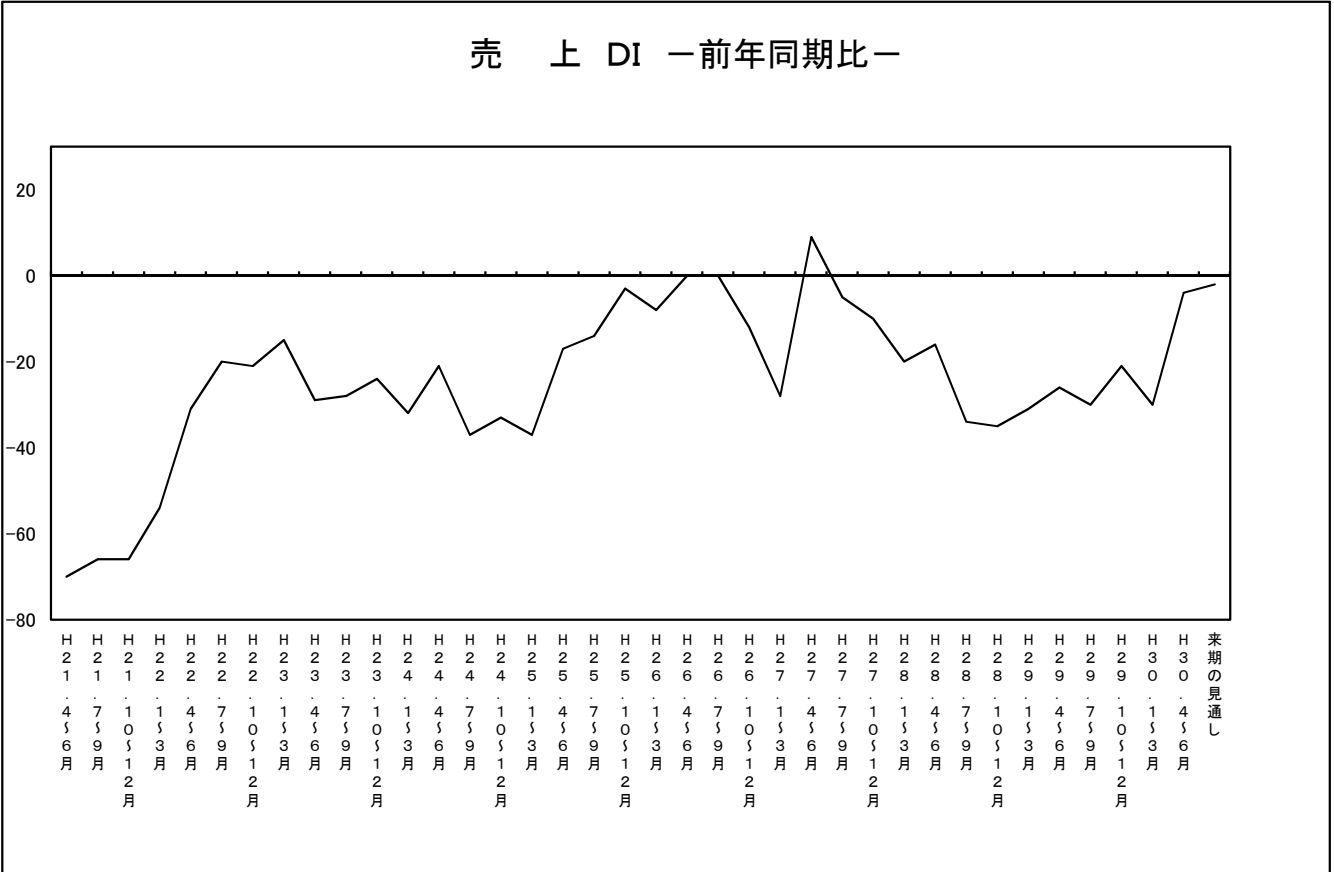
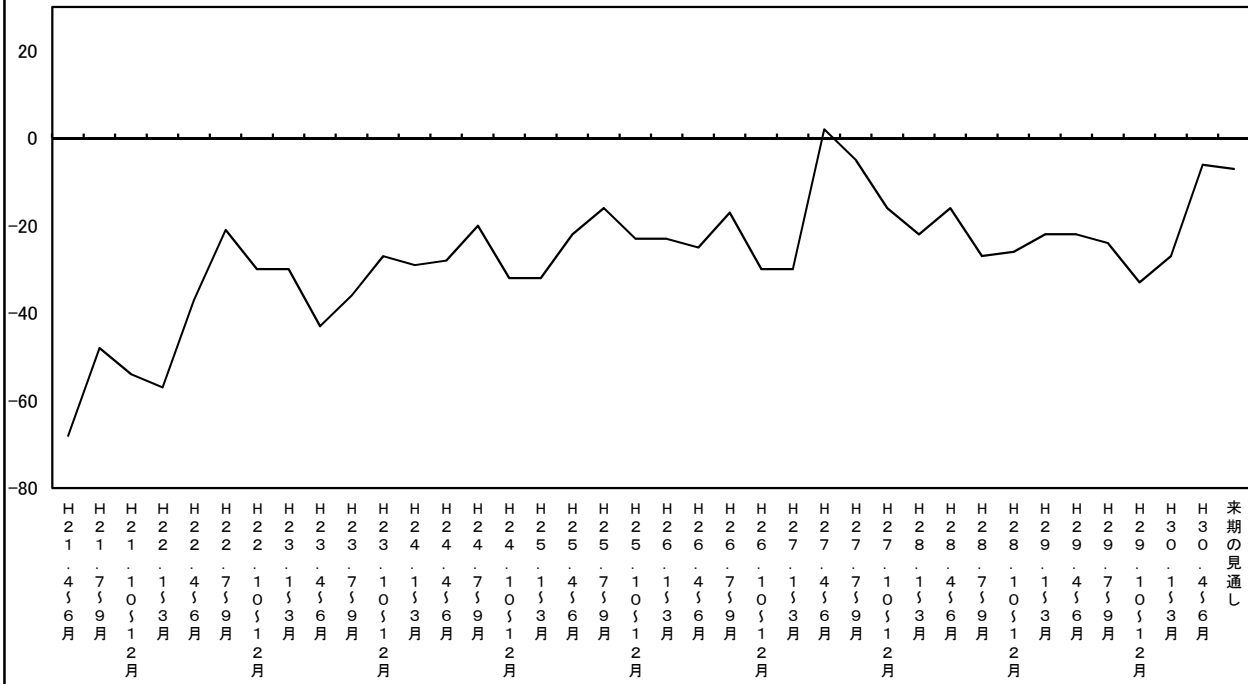


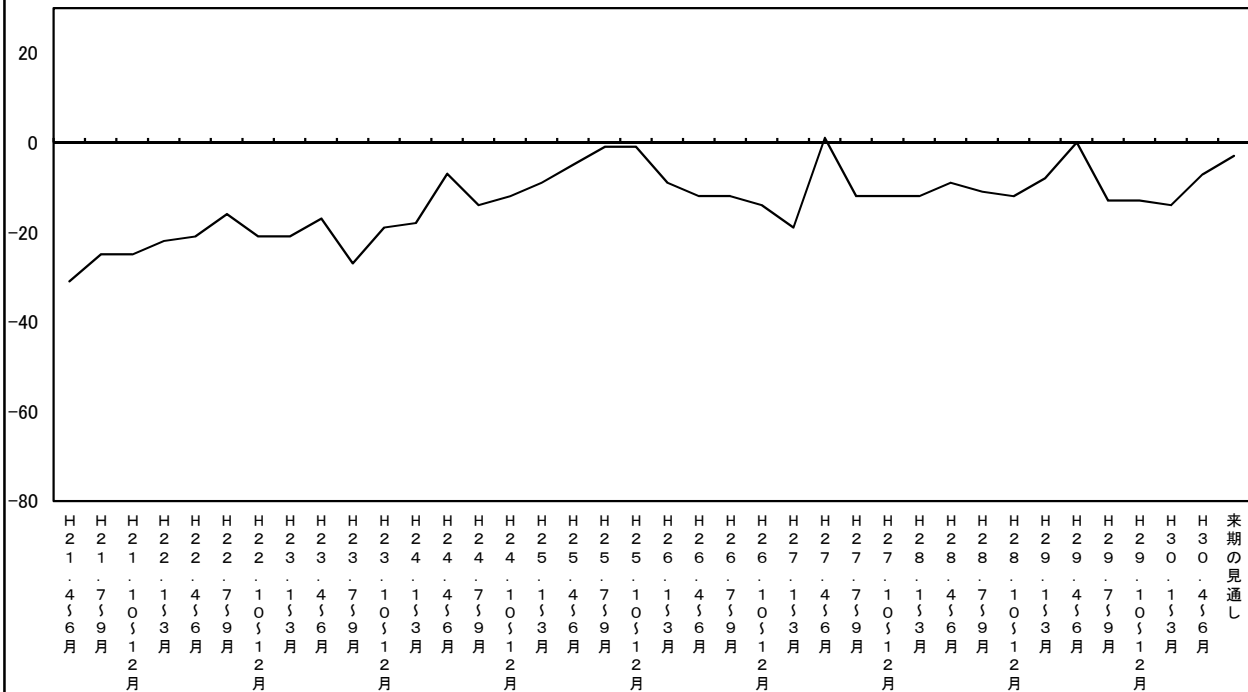
図 3



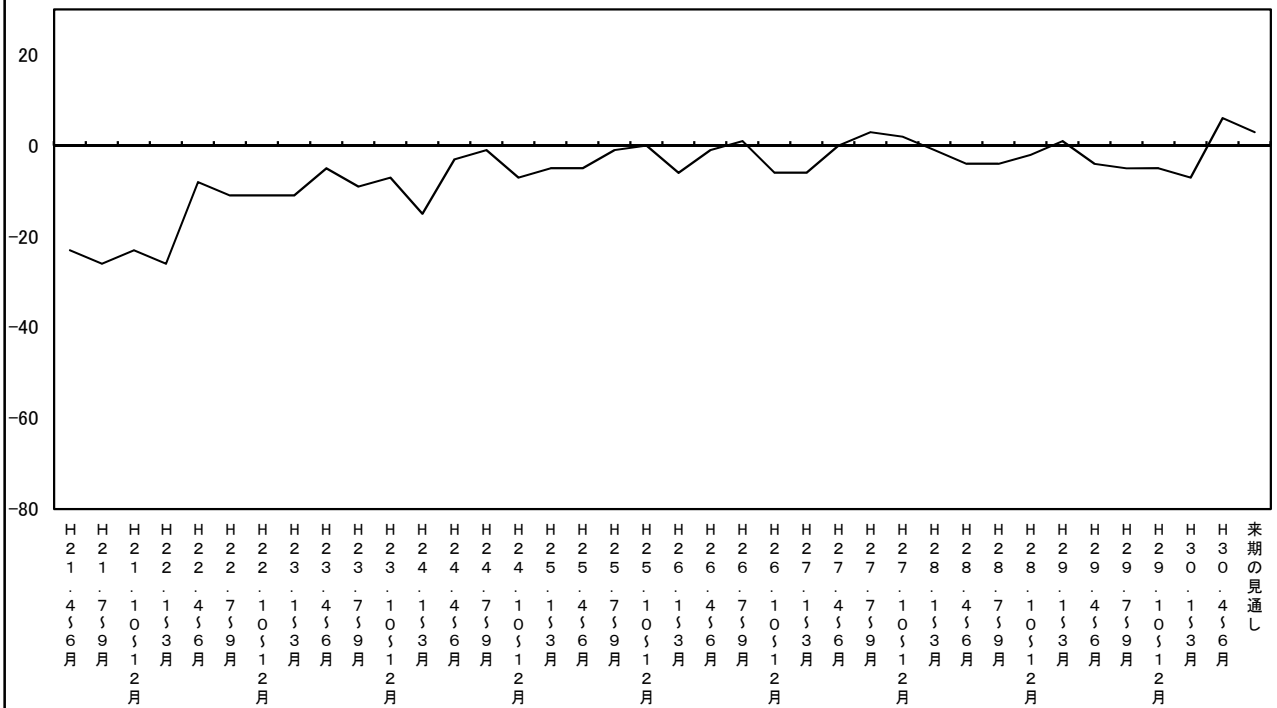
採 算 DI -前年同期比-



資金繰り DI -前年同期比-



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp